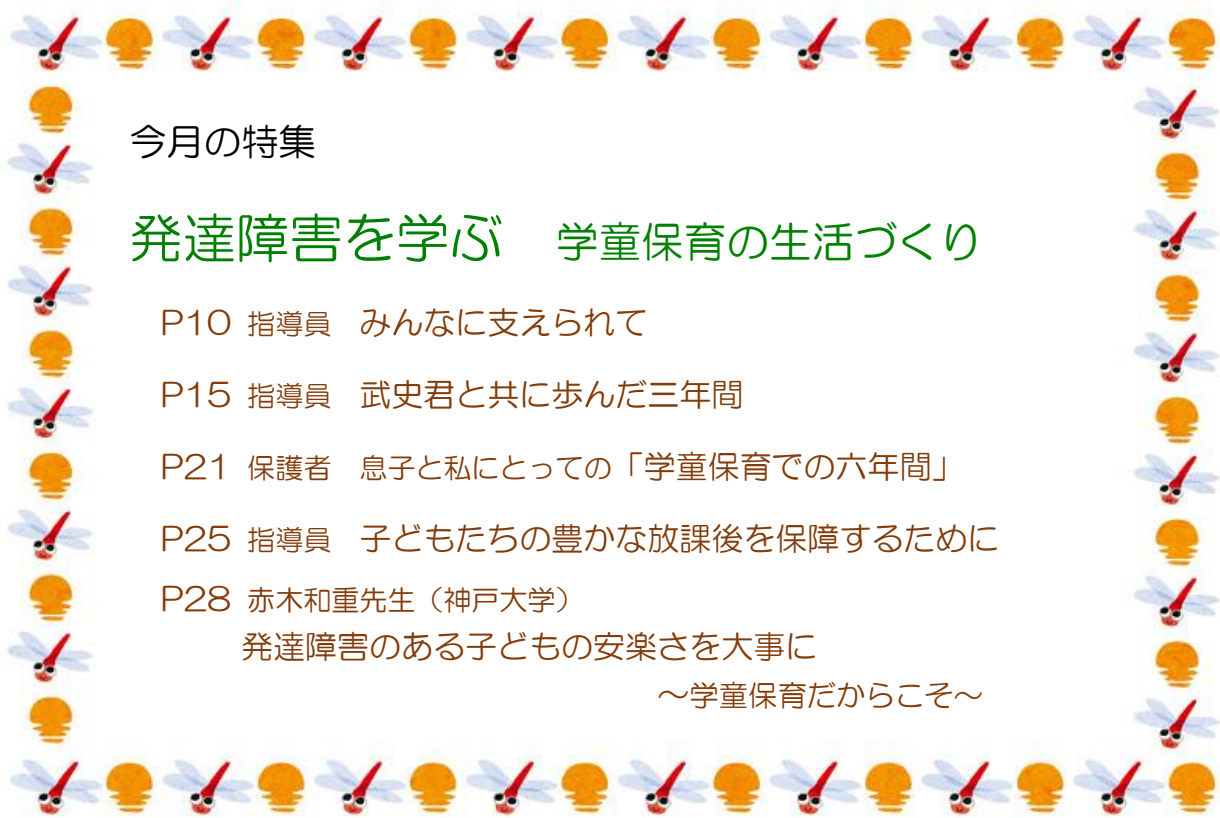




福岡県学童保育連絡協議会

10月号担当：まあすけ



今月の特集

発達障害を学ぶ 学童保育の生活づくり

P10 指導員 みんなに支えられて

P15 指導員 武史君と共に歩んだ三年間

P21 保護者 息子と私にとっての「学童保育での六年間」

P25 指導員 子どもたちの豊かな放課後を保障するために

P28 赤木和重先生（神戸大学）

発達障害のある子どもの安楽さを大事に

～学童保育だからこそ～

「講座」の新連載が始まります！

「食」による子どもの育ちを考える

講座① 食事作りへの参加

—生活者としての子どもの育ちを

宮城学院女子大学 平本 福子 氏



第1回は、子どもが食事作りに参加することがテーマです。

～私たちは毎日、食事（おやつを含めて）を準備して片づけて、をくり返していますが、そうした日々の営みが子どもが生活者として育つ場であることにいま一度目を向けていただけると幸いです。～

P46～51 より抜粋

「たのしいな」このコーナーでは、通常の学童保育での遊び・
工作・おやつづくりを紹介しています。(P54~55)



今月は『みそワタンスープ』の作り方が紹介されています。
寒くなる季節。身も心もほかほか温まりそうなメニューで
すね(^_^)



まあすけおすすめは・・・

保護者の方の学童への思いがつつられている

「出会い 集い 父母会」(P62)

今月は、神奈川県横浜市の保護者の方の投稿です。
タイトルは『困難ななかでも、「太尾学童」の文化・
伝統を引き継ぐことを願って』

投稿された方は、「5年間お世話になった学童保育に
少しでも恩返しをしたい」という思いと、「地域の仲間が
もっと増えるといいな」という思いから、今年度の父母
会会長を引き受けられたそうです。

ところが、「新型コロナウイルス」の流行で、毎年行っ
てきた様々な父母会活動の予定も、全て白紙にせざるを
得ない状況になります・・・

しかし、そんなことではめげない「太尾学童」父母会
の活動が紹介されています。こんな時だからできる工夫
と繋がりの大切さが伝わります。



まあすけおすすめ・・・その2

絶対ぜったい外さないでいただきたい
のが、編集後記です！

各県から推薦され集まった編集委員の
方たちが、学童ほいく誌をひとりでも多く
の方に読んでもらいたいという熱い思い
を込めて、各号の記事に対する思いなどが
書かれています。

「日本の学童ほいく」誌は、日本中の選抜された保護
者、指導員、学童保育研究者の方々との編集会議をもと
に、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌
です。

福岡県連協は、この月刊誌をぜひ、たくさんの保護者、
支援員、学童保育関係者の方々に読んでいただきたいと
思い、見どころ【ひらいてみちやりい】を配信することに
しました。

毎月、担当を変えて、それぞれの視点から、見どころを
紹介していきますので、是非、購読申し込みをお待ちし
ております。

申込先：福岡県学童保育連絡協議会

FAX (093-662-6006)

TEL (093-662-6000)

新型コロナウイルス感染症の感染
拡大防止対策によって、今年度予定
されていた研修会のほとんどが中止
となってしまいました。

年に1度、全国の仲間たちに会え
ることを楽しみにしていた、全国学
童保育研究集会（今年度は山形県で
開催予定でした。）も中止になってし
まいました。でも、こんな時だから
こそ、学童ほいく誌が全国の学童保
育の仲間たちの思いを共有させてく
れているのではないかと感じていま
す。

by まあすけ